

西日本高速道路株式会社が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

1 趣旨

大船渡市は、このたび、基金運用を通じたSDGsへの貢献の一環として、西日本高速道路株式会社（以下、「同社」という）が発行するソーシャルボンド（西日本高速道路株式会社第110回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構併存的債務引受条項付）、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

本債券をはじめとしたSDGs債への投資を継続的に実施することで、当市は今後も社会的責任を果たしてまいります。

「ソーシャルボンド」とは、「社会貢献債」とも呼ばれ、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券です。

同社は、社会基盤である高速道路の新設・改築等を行うとともに、加速化する道路の老朽化、激甚化・頻発化する自然災害、逆走防止などの安全・安心対策といった社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献することを基本姿勢としており、2021年6月、本債券を発行するための枠組みであるソーシャル・ファイナンス・フレームワークについて、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則2021に適合する旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しています。

2 投資額 1億円

3 本債券の概要

銘 柄	西日本高速道路第110回社債 （一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構併存的債務引受条項付）
年 限	7年
発行額	1億円
発行日	2025年10月17日

4 本債券の発行趣旨

本債券の発行による資金調達は、同社が実施するソーシャルプロジェクトの財源として活用され、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標（SDGs）^{注1}の達成に貢献します。

注1）持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと